

「その時」への備え

総合防災訓練

9月1日「防災の日」、北浦庁舎周辺で第1回行方市総合防災訓練が行われました。

訓練には、山田地区の住民・市職員・消防団員など関係団体から約800人が参加。午前9時、南関東部を震源とするマグニチュード7・0の直下型の大地震が発生し、行方市において震度6強の揺れを観測したとの想定で実施。災害発生から3時間にわたり、災害対策本部の設置など初動対応、情報収集、住民避難、防災ヘリによる救助訓練などを繰り返し行われました。



また、日赤行方市麻生奉仕団とNPO法人「美しい北浦」の皆さんによる非常食の炊き出しが行われました。この非常食は、ハイゼックスという専用のビニール袋に米と水を入れ、ゆでればすぐにできあがり、無洗米を使用すれば、少量の水で簡単に炊きあがります。今回は、白米と醤油の炊き込みご飯の2種類、約300食を用意し参加者に配布。試食した参加者からは「意外とおいしい」と好評でした。

このほか消火器を使った初期消火訓練や、土のう作り、起震車を使った地震体験などをしました。参加した住民は「いざというときも、迅速な行動を取りたい」と真剣な表情でした。



児童環境科学セミナー

8月10日から8月24日の間、市内の小学5年生（17校、270人参加）を対象に、霞ヶ浦環境科学センターを拠点として、児童環境科学セミナーが行われました。湖上セミナーでは実際に乗船し、霞ヶ浦市民協会の方から現在の霞ヶ浦の水質の現状を学びました。

また、霞ヶ浦の水を採取し、科学センターで水質検査の実験やプラシントンの観察をするなど、貴重な体験をしました。参加した子どもたちは「霞ヶ浦のことがよくわかり、船が楽しかった」「川や霞ヶ浦をよごさないようにしたい」と話していました。



環境保全行方市民会議と家庭排水浄化推進協議会の共催で、9月1日「霞ヶ浦の日」に、水質浄化キャンペーンや、ゴミの減量化促進事業マイバックキャンペーンを、セイミヤ麻生店とベイシア玉造店の店頭で実施しました。

家庭排水浄化推進協議会の会員の方がキャンペーンを呼びかけると、300個用意したバックやハープ苗は1時間程度で無くなるほどの大盛況で、市民の環境意識の大きさが実感されました。

なお、チャリティーで集まりました49,891円は社会福祉協議会へ寄付しました。ご協力ありがとうございました。

環境保全水質浄化キャンペーン

環境保全ワンポイントアドバイス

● 買い物に行く時はできるだけ買い物袋（マイバック）を持参しましょう！使い方は、簡単！普通に買い物カゴで買い物をし、レジでマイバックを差し出すだけです。入れ替え無しでもとても便利です。レジ袋は年間約305億枚の使用（1人当たり年間300枚を使用していることとなります）マイバック持参の効果（ゴミの減量・ゴミ処理経費の生産・廃棄の軽減、レジ袋に伴う地球温暖化の防止、資源の保護にもつながります）